

⑫ 公開実用新案公報(U)

平2-27061

⑬ Int. Cl.³

F 16 H 63/42
3/091

識別記号

庁内整理 号

8917-3 J
7331-3 J

⑭ 公開 平成2年(1990)2月22日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 変速位置検出用スイッチ付きトランスミツション

⑯ 実 願 昭63-101402

⑰ 出 願 昭63(1988)7月30日

⑱ 考 案 者 杉 山 邦 彦 東京都港区芝5丁目33番8号 三菱自動車工業株式会社内

⑲ 出 願 人 三菱自動車工業株式会 東京都港区芝5丁目33番8号
社

⑳ 代 理 人 弁理士 飯 沼 義 彦

㉑ 実用新案登録請求の範囲

トランスミツションにおいて、変速操作用シフトレールの端部に、同シフトレールの中心軸線に沿って突設された案内棒と、同案内棒に嵌合して摺動しうる筒状部材と、上記案内棒の外周に装着されて上記筒状部材を上記シフトレールから離隔する方向へ付勢するスプリングと、上記筒状部材の上記案内棒からの抜け止め機構とをそなえるとともに、上記トランスミツションのロワカバーに、上記シフトレールの軸方向移動に際し上記筒状部材の外端に当接して同外端の位置を規制しうるストツバをそなえ、上記筒状部材に近接して配置された変速位置検出用スイッチが装備されるとき、同スイッチの付勢バネ付き作動端が、上記筒状部材の外周面に形成された低受面と、同低受面に隣接する高受面とに摺動可能に付勢されて、上記シフトレールの軸方向移動による変速操作に応じて上記作動端が上記の低受面または高受面に当接するのに伴い上記スイッチの開閉作動を介して変速位置を表示しうる変速位置表示系が設けられたことを特徴とする、変速位置検出用スイッチ付きトランスミツション。

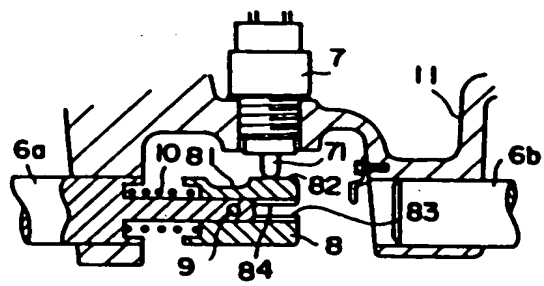
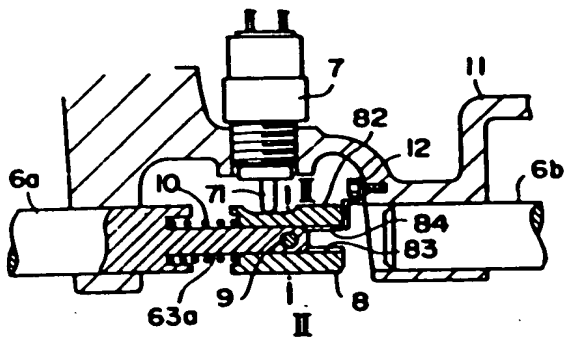
図面の簡単な説明

第1～3図は本考案の一実施例としての変速位置検出用スイッチ付きトランスミツションを示すもので、第1図はその縦断面図、第2図は第1図のⅡ-Ⅱ断面図、第3図はその動作説明図であつて、Aは変速位置検出時、Bは変速位置非検出時を示し、第4、5図は従来のトランスミツションを示すもので、第4図はその全体縦断面図、第5図はその部分縦断面図である。

1……トランスミツションケース、2……ドライブピニオン、3……メインシャフト、4……カウンタシャフト、6a、6b……シフトレール、7……変速位置検出用スイッチ、8……筒状部材、9……抜け止めピン、10……スプリング、11……ロワカバー、12……ストツバ、21……ピニオンギヤ、31、32、33、34……変速ギヤ、41、42、43、44、45……カウンタギヤ、51、52、53……シンクロナイズ、61a……低受面、62a……高受面、63a……案内棒、71……作動端、81……低受面、82……高受面、83……案内孔、84……抜け止め溝。

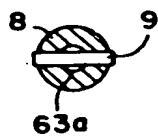
第 3 図

(A)

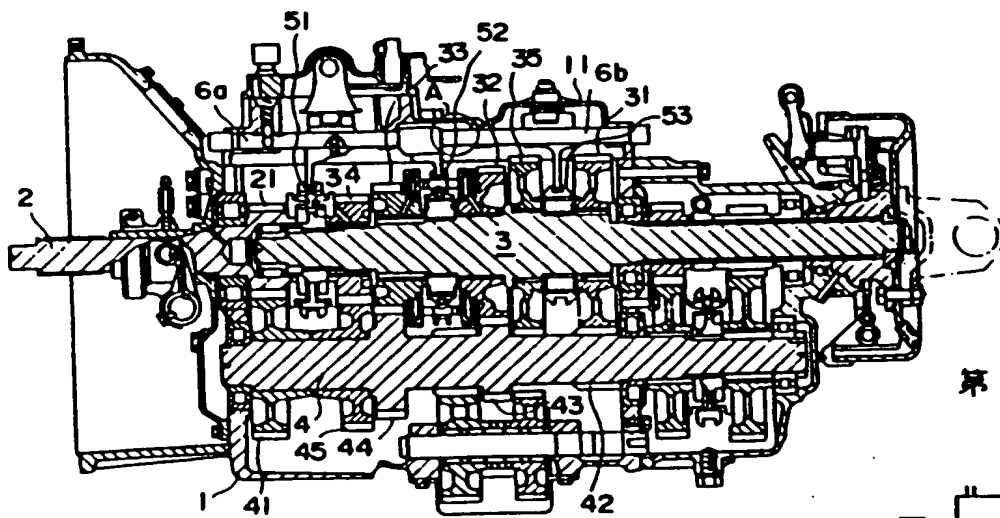
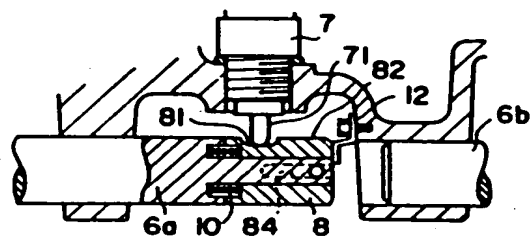


(B)

第 2 図



第 4 図



第 5 図

